

2000年8月28日

いすゞ 大型トラック『ギガマックス』のショートキャブ車

及び中型トラック『フォワード』の新增トン仕様車を新規設定

いすゞ自動車（株）は、大型トラック『ギガマックス』シリーズにショートキャブ車を新規設定するとともに、中型トラック『フォワード』シリーズに新增トン仕様車を設定し、8月28日から全国一斉に発売する。

いすゞ自動車の商用車シリーズは、「信頼と安全」をベースコンセプトに車両開発をおこなっている。今回は、大型トラック『ギガマックス』及び中型トラック『フォワード』に、特に積載性を追求した車型を新たに追加設定した。

大型トラック『ギガマックス』では、キャブの全長を短くしたショートキャブ車を新規設定し、荷台長を拡大するなど、積載性の向上を図った。

また、中型トラック『フォワード』では新增トン仕様車を設定し、フロントアクスル／リアアクスルの変更などにより、従来から設定している車両総重量（GVW）13.5トンから14.5トンに拡大するなど、積載性を向上させる改良を施した。

主な特長は次の通り：

1. ギガマックス ショートキャブ車

(1)キャブ後部のレストスペースを縮小したショートキャブ車を『ギガマックス』に新規設定した。

これにより荷台長を最大10mとることが可能となり、積載性を向上させた。

（従来の最大荷台長は9.6m）

(2)高速幹線輸送に最適な、軽量・低燃費の6SD1-TCS型インタークーラーターボエンジンを搭載し、軽量エンジンによる積載性の向上と、低燃費による経済性を両立させた。

(3)走行中の変速時にクラッチ操作を不要とする「セミオートクラッチ」をオプション設定し、ドライバーの運転疲労の低減を図った。

2. フォワード 新增トン仕様車

(1)フロントアクスル／リアアクスルの変更により、軸許容限度を向上させた新增トン仕様車を設定した。これにより、従来の増々トン仕様車では最大13.5トンだった車両総重量（GVW）が、新增トン仕様車では最大14.5トンとなり、積載力が向上した。

(2)荷台振動を大幅に低減し、高品質輸送に貢献する、4バグエアサスペンション搭載車『フォワードマックス』の車型展開を拡大した。

《目標販売台数》

ギガマックス ショートキャブ車 200台/年

フォワード 新增トン仕様車 800台/年

《『ギガマックス ショートキャブ車』 東京地区希望小売価格》 (消費税含まず)

車型	エンジン型式 最高出力	GVW (トン)	東京地区 希望小売価格	備考
KL - CYL23V3	6 SD1-TCS 250 kW (340PS)	25.0	12,490,000 円	キャブ付シャシー 4 バッグエアサスペンション

《『フォワード 新增トン仕様車』 東京地区希望小売価格》 (消費税含まず)

車型	エンジン型式 最高出力	GVW (トン)	東京地区 希望小売価格	備考
KL - FSD33L4R	6 HH1 165 kW (225PS)	14.5	6,478,000 円	キャブ付シャシー 4 バッグエアサスペンション
KL - FSR33L4R	6 HH1 165 kW (225PS)	14.5	6,218,000 円	キャブ付シャシー リーフサスペンション